

THE WEEKLY REPORT 2003▶2004



TAKIKAWA

ROTARY CLUB

第 2341 回 2229 2 月 26 日 (木)



「百合の咲く庭園」 撮影／滝川ロータリー名誉会員 神部弘二

ロータリーテーマ：手を貸そう

ROTARY THEME : LEND A HAND

2003~04 国際ロータリー会長 ジョナサン・B.マジリアベ氏

「変革にチャレンジ」 林 博 幸 会長

第2340回例会記録 2月19日(木)

副会長挨拶・報告



今日は食事の量が多い様で、まだ終わっていない方がいらっしゃいますが、そのままお聞き頂きたいと思えます。

今日はモンゴルから来られた國學院の留学生を迎えてとのことで、國學院の勉強についてお話させて頂きたいと思えます。昭和57年4月に中空知教育の核として5市5町の協力と、特に滝川市民の多くの皆様から多額の協賛を頂いた中で開学し、今年で21年目を迎えました。その間社会の情勢が変わりまして少子化・高齢化・過疎化が進みまして、なかなか学生を確保出来ない状態にして、本来定員250名のところ200名弱まで落ち込んでしまった中で、色々な試みを行ってまいりました。たとえば、幼児教育課の新設とか地元学生には奨学金を出す制度とか英語教育に力を入れようとのことでございましたが、なかなか学生を集められなかったのが現状でありまして、累積赤字も溜まって参りました。その中で学校の存亡となりまして、苦渋の選択となりまして滝川市から1億円を昨年度寄付を致しました。今年もさらに1億円ということで、2億円の寄付のなかで営為努力をされておりまして、昨年プリンスホテルの常務から出向されました蛭原学長がおいでになった時から「活性化推進プラン」を立てまして色々ここ1年やって参りました。その中にはインターンシップとか、滝川西高との高大連携とのことで共同学習とか、推薦制度等も作っておりますし、また、本学にも編入出来やすい様進めておりますし、また、市民の交流の中では、広報誌が新しく出されまして、市民講座については、なお充実させていこうとのことでございまして、この、モンゴルの留学生の受け入れにつきましてもこの一環でございまして、昨年からは始めまして、現在、6人おられます。1億円の増収の中、借金に当てるということではなくて、これからの運営に対する助成として、それを起爆剤として、学校運営をきちっとやってほしいということございまして、大学側でも積極的に入学案内も今まで以上に営業活動を続けております。今年の目標240名ですが今のところ突破出来たということで出来れば後30名ほど確保したいということでこれに期待す

るところでございまして今後とも地域の大学としては如何しても必要でございますのでRCの皆様には以前にましてご協力頂きたいと思っておりますし、また地域をあげてもなお協賛していかなければならないと思っております。報告はございません。

幹事報告

2004～05年度版の手帳の予約を受け付けております。例年通り一部630円となっております。ご希望の方は今月26日までに事務局へお申し込み下さい。

下期会費納入で、まだ数名お忘れの方がいらっしゃいます。ご確認の上、早急に納めて頂きます様ご協力お願い致します。

大阪国際大会の登録ですが、現在25名登録されておりますが、まだ数名足りませんのでお早めに登録お願い致します。尚、日程(5月22日～24日)等については次回又は3月4日までには配布致します。

「シンポジウムin滝川」3月6日13時より、たきかわホールにて開催しますので多くの方が行かれます様お願い致します。

委員会・同好会報告

親睦委員会

今日、木曜フォーラムをおくので行います。参加人数が少ないので、この例会終了まで受付しておりますので、参加のほど宜しくお願い致します。

マーじゃん同好会

マーじゃん大会を2月26日(木)予定通り行いますので宜しくお願い致します。

雑誌委員会

「ロータリーの友」2月号を配布致しますので、ご購入下さい。

囲碁同好会

2月20日(金)午後6時より福喜園において「新春囲碁大会」が開催されました。成績は次の通りです。

A組・優勝/五十嵐

・準優勝/山本(毅)

B組・優勝/宇山

・準優勝/前田(前事務局)

先週のプログラム

ゲスト卓話

国際奉仕委員会担当

松橋和博委員長挨拶



皆様こんにちわ。日頃より国際奉仕にご理解とご支援を頂きありがとうございます。また先日滝川国際交流より依頼されましたスリランカ教育のホームステイに関しましては、土井会員・関藤会員・中垣会員・林会長に対しましては大変お世話になりました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

さて、本日のプログラムですが、滝川國學院短期大学にモンゴルより留学されている2人をご紹介します。2人は日本語を始め日本の文化や文学を勉強されに來日しておりますが、我々はモンゴル国のことはあまり知らないのです。ここで少しでもモンゴル国のことを理解出来れば国際奉仕の中に貢献出来るのではないかと考えております。2人をご紹介します。ナヨロン・バートル・ソロンゴさんとトルジブレブ・デルゲルマーさんです。それでは宜しくお願いします。

「留学生から見た国際奉仕とは」

- モンゴル国紹介 -

トルジブレブ・デルゲルマーさん



皆さん、こんにちわ。私、デルゲルマーと申します。日本語はまだまだ下手ですけれども、これから皆様にお話を聞いて頂けるよう宜しくお願い申し上げます。まず、自己紹介をしようと思います。私は現在、國學院短期大学2年生の国文学科であります。今年卒業してそろそろ帰ります。家族は4人で父の専門は電気のエンジニアですが、現在は地球の温暖化やオゾンホール・排気ガス等の環境問題のコンサルタントをやっております。母は先生なのですが、5年前から仕事をやめて主婦になっております。姉は現在25歳で、韓国の大学を卒業し、韓国の大学院に通っております。モンゴルの国立人文大学と滝川の國學院短期大学は2年前2002年から学生交換の契約を結び、その時国立人文大学の4年生に通っていた私は、外の2人と日本に來れることが出来まして嬉しいのです。これから自分の故郷モンゴルについて話そうと思います。皆様、モンゴルと思ったらNHKで放送される大草原とお馬に乗っている人々、そういうイメージしか持っていないと思われそうですが、ちょっと詳しく説明しようと思っております。モンゴルの人口は300万人で面積は日本より4.5倍の広さがあります。モンゴルの首都はウランバー

トルと言いますが、人口は80万人で首都のウランバートルはモンゴルの一番の大都会だから日本と変わらないでビルが建てていたり、車が走っていたり、外国の会社もあつたり、何でもありますから始めて日本に來た時、私は「貴方の学校はゲルみたいな建物になっていて、お馬に乗って学校に通っていて、日本に來て初めて車等見たか、どうですか」と質問されたのですが、ウランバートルは東京と変わらないのです。何でもありまして、現在でも日本ブームでありまして、NHKもテレビで毎日見られますし、これからも日本との交流もどんどん増えていくと思っております。ウランバートル以外はモンゴルとしてやっぱり大草原が広がっていて、モンゴルの遊牧民達の住むゲルがあつて家畜などはいっぱいあり、皆様NHKで見る姿そのままです。初めて私、2年前、滝川に來た時とてもびっくりしました。日本人達がモンゴルのイメージとしたら遊牧民のイメージがあると同じ、私達も日本と思つたら高層ビルがびっしり並んだ、新幹線とか高級車が走っている。何か町が人々であふれているというイメージしかなかったので、この滝川に來てとてもビックリしました。どうゆうところに来てしまったかと思っていたのですが、私は海外も初めてだし、一人暮らしもしたこともなく、滝川に來た1年目は辛いことも悲しいこともたくさんありました。でも滝川の良いところをどんどん見つけたら、一人暮らしも慣れてきたら滝川も好きになってきました。空も気持が晴れるほど青いし、空気もモンゴルと変わらないきれいで美味しいし、食べ物も美味しいし、特に町の人々はとても優しく、お金もあまり掛からないし、住みやすいし、とどんどん良いところ見つけて滝川を好きになりました。嫌いなことは一つだけありますが冬たくさん降ってくる雪は嫌いです。私は今、國學院短期大学生で日本の文化や日本の文学を勉強しておりますが、どうして日本語を勉強しようと思ったかについて話してみようと思っております。私のお父さんは仕事でよく外国へ行って色々な写真とか、外国の面白いことを話してくれるから、小さい頃から外国語を勉強して外国の色々な国に行つて色々な人々と会ってみようと、夢がありました。その時丁度中学生の頃モンゴルのテレビで日本の連続ドラマ「おしん」が放送し始めた。そのおしんを見てとても感動しました。モンゴル人は

皆、おしんとかスズランとか皆知っております。そのおしんを見て日本が好きになりました。日本語を勉強しようと思いました。国立人文大学の日本語学科に入りまして勉強していたら日本に来られる機会があります。現在では短大を卒業しようとしております。今月は卒業試験がありまして、なんとか無事に卒業出来るようになります。来月そろそろモンゴルに帰りますが、モンゴルに帰ったら、まだ卒業していない人文大学を卒業しますね。卒業したらせっかく6年間も日本語を勉強したから、日本語を使った貿易会社か、日本とモンゴルとの間の観光会社に働きたいと思っております。そろそろ卒業して帰国しますが滝川の全てが、迷った道を教えてくれる叔父さんとか、いつもおにぎり作ってくれる叔母さんとか、日本のゲームを教えてくれた小学校の子供とか、皆とお別れするのは、とても寂しいけれども、滝川で過ごした大事な思い出や体験を大事にしてまたいつか会えると思って頑張っていきたいと思っております。ご静聴ありがとうございました。

ナヨロン・バートル・ソロンゴさん



皆さん、こんにちわ。ソロンゴと申します。私は日本に去年の4月に来ました。来て1年もたっていないのです。初めて日本に来るときは色々心配が一杯あった。4年間ぐらい日本語を勉強したのに、日本人とは直接会話をしたことがなかったので、なかなか話せなかったのです。これは一番辛かったです。今はどんどん話せるようになったし、色々な人々、何時も私を助けてくれるから日本にきて本当に満足しています。私の家族は7人で、父と母と私入れて5人の姉妹です。父は今、ココレンに勤めております。日本に来て一番驚いたのは多い雪だった滝川に来て、生まれて初めて積もった雪見て、私の身長ぐらい高い雪見てビックリしました。今は雪を見て好きになりました。夜、街を歩いたら絵本の中にいるみたいに美しいと思っております。今は國學院短期大学国文科の1年生です。私は子供の頃から日本に興味持ってきたから国文科に入って日本の色々な文化とか文学を習ってすごく満足し

ております。日本のイメージはもちろん高層ビルが一杯並んで賑やかな町、東京みたいな、日本といえば、頭にまず思い浮かぶのは東京とずーっと思っていただけども、滝川に来て町に歩いていたのは私一人で、人口もあまり少なく、凄く寒かったです。今は慣れたし日本の友達出来て色々な所に遊びに行ったりして、一番の思い出は襟裳に行ったことと6月にヨサコイを見たことです。これからも日本で過ごす1年を満足していい思い出を作って帰りたいと思いません。宜しくお願いします。以上です。ありがとうございました。

今日の食事のコメント デルゲルマーさん

皆様今日、召し上がったご飯はモンゴル語でバインシテーテーと言います。バインシテーとは餃子のことでデーとはお茶のことで、お茶の中に餃子を入れた料理で、モンゴル人は良く食べる料理で、熱い内に食べ、汗を流して食べるのは体に良くて疲れを取ると言われています。材料は牛乳と肉は羊の肉です。日本人の方に作ってもらいましたが、大変美味しく満足しております。

ニコニコBOX

河内 栄子会員 モンゴル出身のデキちゃんソロンゴちゃんの卓話が上手に出来ましたことに!!

高山 訓正会員 ニコニコ委員長と目が合い・・・。

松橋 和博会員 担当例会の役目を終えて。又、スリランカホームステイ無事終えて。

会長/林 博幸
幹事/川口 義弘
編集/クラブ会報委員会

例会日●毎週木曜日 PM12:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●☎073-0032滝川市明神町2丁目2-16

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

ホテルスエヒロ7F TEL (0125) 22-3344
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。